

## ヤーコンの優良系統SY201

農業センター

### 1 取り上げた理由

ヤーコンは多量のフラクトオリゴ糖を含有し、虫歯予防、整腸作用等に効用があると言われ注目されている。また、新しい特産的転作作物としても有望であり、優良系統の選定について検討した結果、SY201が有望と認められたので普及技術とする。

### 2 普及技術

- 1) SY201は平成4年四国農業試験場においてSY7（ペルーA群）を母本に、SY102（ボリビア群）を父本とした交配後代から選抜育成された系統である。
- 2) SY201は一般に栽培されているSY11に比べると塊根の内部肉色は白く美しく、条溝裂開が少ない良質系統である。
- 3) 施肥量は基肥量のみで施用する場合、収量の安定性と条溝裂開率の発生程度から窒素、リン酸、加里各々分量でアール当たりほぼ1.5kgが適量である。これ以下では低収となり、これ以上では増収傾向を示すものの条溝裂開率が高まり品質が低下する。



ヤーコンの地上部



ヤーコンの地下部

### 3 利活用の留意点

- 1) 転換畑で排水対策を講ずれば十分栽培出来る。また、盛夏時、茎葉が萎凋した時には畦間灌水が必要である。

(問い合わせ先：宮城県農業センター農産部 電話022-383-8119)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間 特産的転作作物栽培法の確立 平成7年度～平成9年度  
地域特産物の選定と特性把握による栽培法の確立 平成10年度

2) 参考データ

表一 1 成熟期の生育状況及び収量

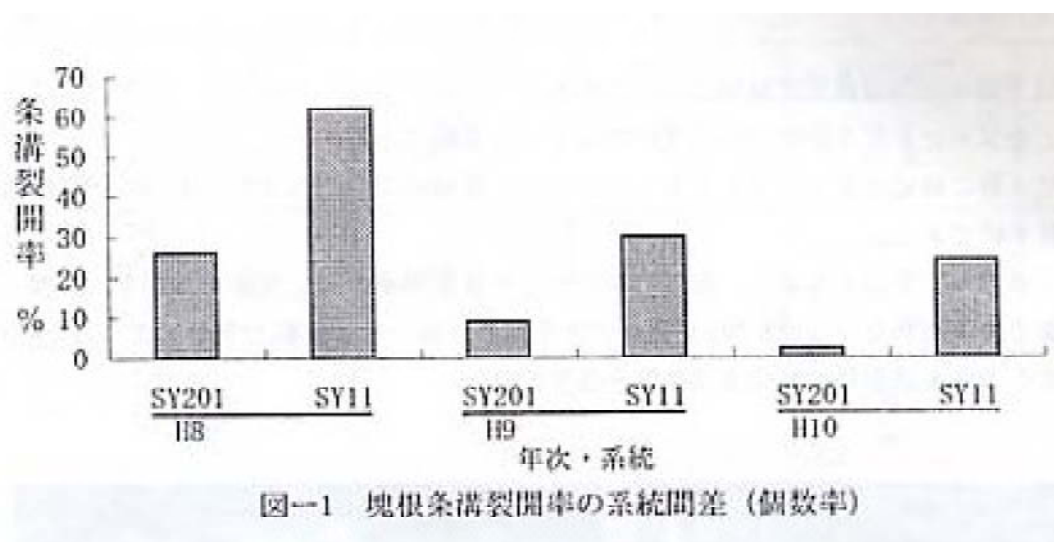
系 統 名			S Y 2 0 1			S Y 1 1		
			H8年度	H9年度	H10年度	H8年度	H9年度	H10年度
成 熟 塊 根	着生個数	(個/a)	2,067	2,600	1,020	1,042	2,280	1,280
	平均重	(g/1個)	173.0	130.2	165.5	201.0	166.8	152.5
	全収量	(kg/a)	363.8	338.5	168.6	226.4	380.3	195.2
	無裂開塊根収量	(kg/a)	269.2	308.0	165.2	86.0	266.2	148.4
	同上 収量比	(%)	313.0	116.0	111.0	100.0	100.0	100.0

※施肥量 (基肥成分量 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O kg/a) 2.0-2.0-2.

栽植様式 畦間 100cm, 株間 50cm, 2株/m<sup>2</sup>,

試験ほ場 H8, H9 宮城県農業センター金剛寺ほ場, 転換畑 (礫質褐色森林土, 埴壤土)

H10 宮城県農業センター水田ほ場, 転換畑 (細粒灰色低地土, 強粘土構造型)



表一 2 S Y 2 0 1 の施肥量と成熟期の生育・収量

試験 実施 年度	施 肥 量 N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O	草 丈 (cm)	茎 数 (本/株)	成 熟		塊 根		塊根条溝 裂開率 (%)
				個 数 (個/a)	1ヶ平均重 (g/1個)	収 量 (kg/a)	収量比 (%)	
H 9	1.0-1.0-1.0	87.6	8.8	1,940	94.0	182.0	70	16
	1.5-1.5-1.5	103.8	7.3	2,120	112.9	239.3	92	2
	2.0-2.0-2.0	124.9	9.3	1,480	175.4	259.6	(100)	31
	2.5-2.5-2.5	140.0	8.2	1,980	131.6	260.6	100	26
H10	1.5-1.5-1.5	112.3	8.3	1,200	143.1	171.7	98	8
	2.0-2.0-2.0	122.3	9.2	1,120	156.0	174.7	(100)	8
	2.5-2.5-2.5	121.2	8.8	960	207.6	199.3	114	15

※肥料名 磷加安 777号 全量基肥施用

栽植様式 畦間 100cm, 株間 50cm, 2株/m<sup>2</sup>

試験ほ場 H8, H9 宮城県農業センター金剛寺ほ場, 転換畑 (礫質褐色森林土, 埴壤土)

H10 宮城県農業センター水田ほ場, 転換畑 (細粒灰色低地土, 強粘土構造型)

3) 発表論文等 東北農業試験研究推進会議 畑作物部会 研究成果情報